

証券コード：6567  
2022年10月14日

# 2023年5月期 第1四半期 決算補足説明資料



株式会社 SERIO ホールディングス  
代表取締役社長 若瀨 久

家族を笑顔に!  
**serio**

1. **会社概要**
  2. **2023年5月期 第1四半期業績概況**
  3. **セグメント別 業績概況**
  4. **2023年5月期 通期業績見通し**
  5. **株主還元**
  6. **事業環境**
  7. **中期経営計画（2023～2025）**
- 参考資料**

## Vision

「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」

## Mission



仕事と家庭の両立応援



未来を担う子どもたちの成長応援

## 就労と育児の両面から女性の活躍を支援

### 働く『機会』の創出

パートタイマー型派遣で  
ライフステージに合わせた働く「場」を提供

就労支援事業  
(派遣・請負・紹介)

### 働く『環境』の創出

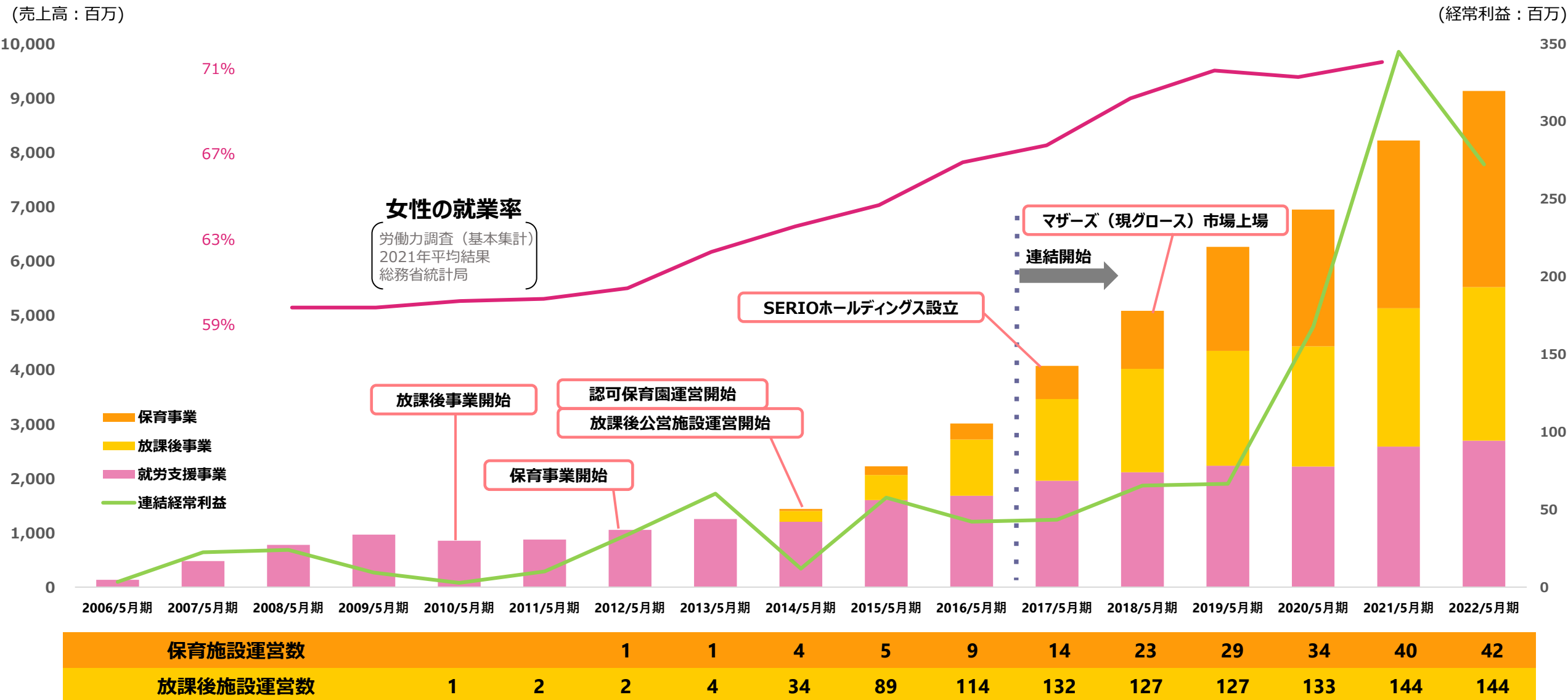
子どもたちの安心・安全な  
居場所を提供  
働く「時間」を創出

放課後事業  
(学童クラブ運営)

保育事業  
(保育園運営)

緑化事業  
(園庭芝生化)

保育セグメント



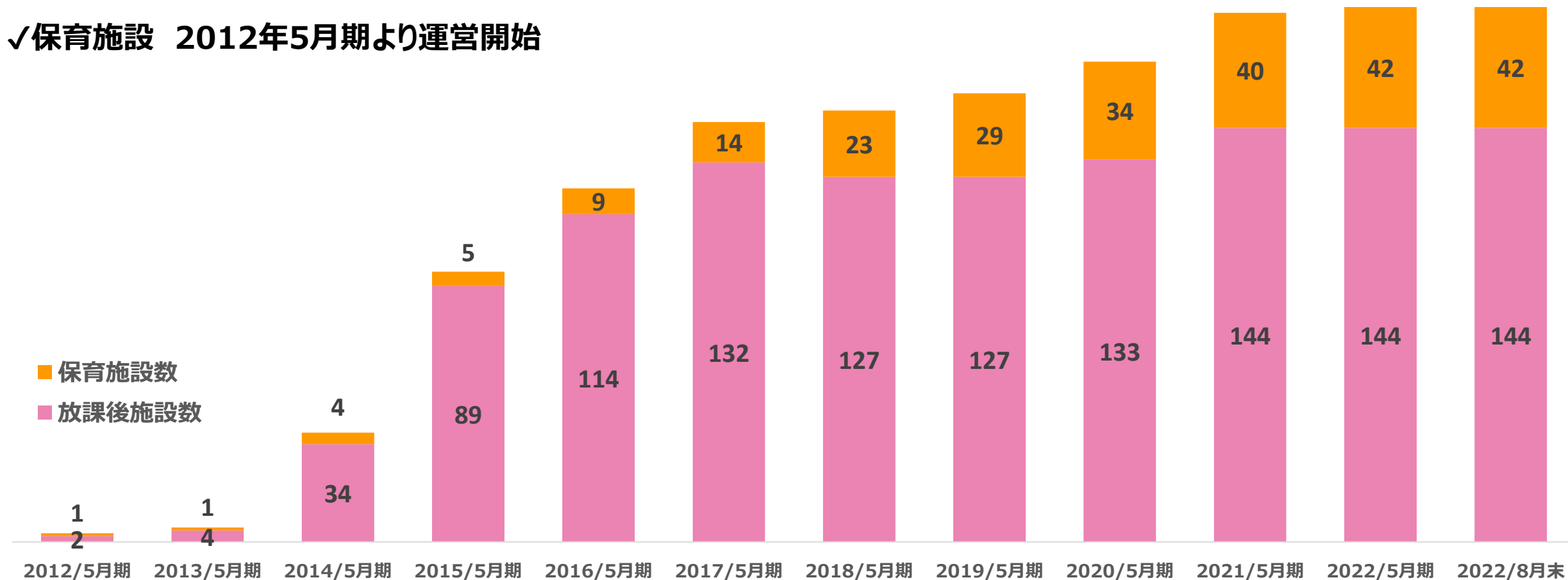
→セグメントごと売上高…2014/5月期以降（2010/5月期～2013/5月期は合算）

→2016年1月監査法人契約開始

✓2022年8月末現在、放課後144施設、保育42施設 計186施設運営（前年比+2）

✓放課後施設 2010年5月期より運営開始

✓保育施設 2012年5月期より運営開始



## ・1Q過去最高売上 対前年で増収減益

保育事業において新設及び既存園における園児数増が寄与し増収。年度途中での積極的な園児受入れを行うため、労務費が増加し原価率が上昇。中期的な施設増に備え本部人員も増強し減益となった。

売上高 2,440百万円 (前年同期比+5.2%)

売上総利益 380百万円 (前年同期比△7.4%)

営業利益 12百万円 (前年同期比△83.3%)

経常利益 17百万円 (前年同期比△76.7%)

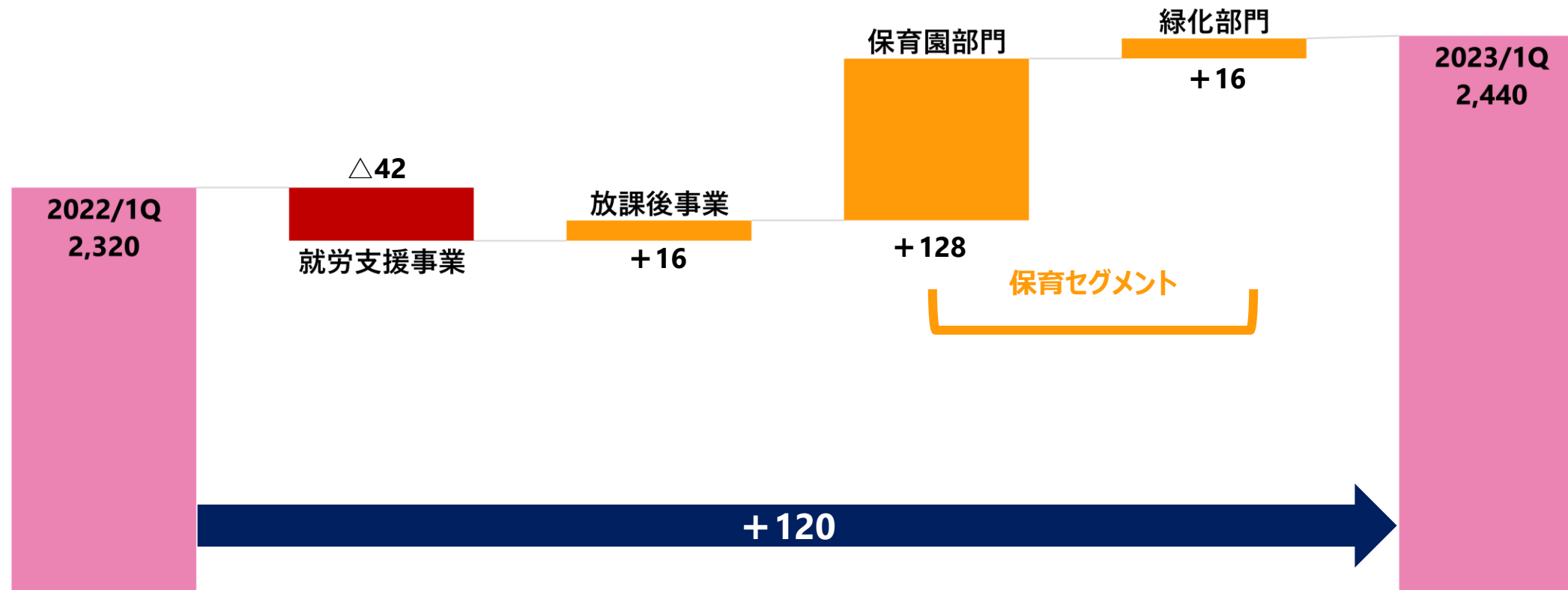
(百万円)

	2023/計画	2023/1Q 実績	構成比	前年同期比 増減率	通期計画 進捗率	2022/1Q	
						実績	構成比
売上高	9,640	<b>2,440</b>	100.0%	+5.2%	25.3%	2,320	100.0%
就労支援事業	2,855	<b>661</b>	27.1%	-6.0%	23.2%	703	30.3%
放課後事業	2,895	<b>765</b>	31.4%	+2.3%	26.4%	748	32.3%
保育事業	3,890	<b>1,014</b>	41.5%	+16.8%	26.1%	868	37.4%
売上原価	7,849	<b>2,060</b>	84.4%	+7.9%	26.2%	1,909	82.3%
売上総利益	1,790	<b>380</b>	15.6%	-7.4%	21.3%	410	17.7%
販売費及び一般管理費	1,490	<b>367</b>	15.1%	+9.5%	24.7%	336	14.5%
営業利益	300	<b>12</b>	0.5%	-83.3%	4.2%	74	3.2%
経常利益	300	<b>17</b>	0.7%	-76.7%	5.8%	74	3.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	195	<b>11</b>	0.5%	-75.1%	5.9%	46	2.0%



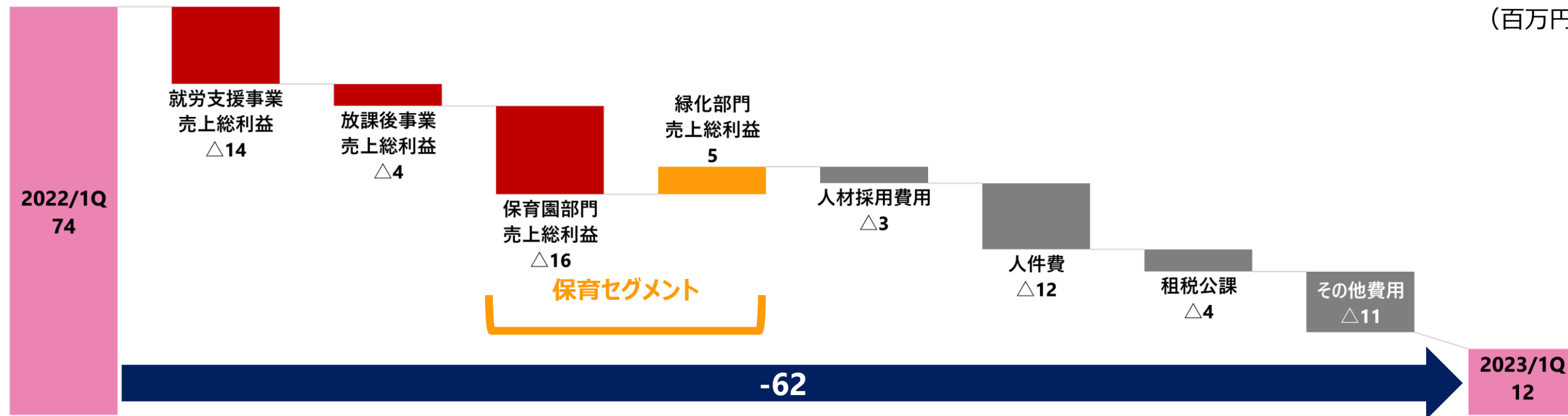
## ✓園児数増に伴う保育園部門の売上がけん引

(百万円)



就労支援	コロナ影響 ▲ 14百万発生 (既存スタッフの欠勤、受託先のサプライチェーン混乱等)
放課後	受託自治体において原価にあわせた請求が可能となり、夏休みによる原価増にあわせて増収
保育	新設園の利用園児数の増加、既存園の年間を通したきめ細かい園児数増加策が寄与

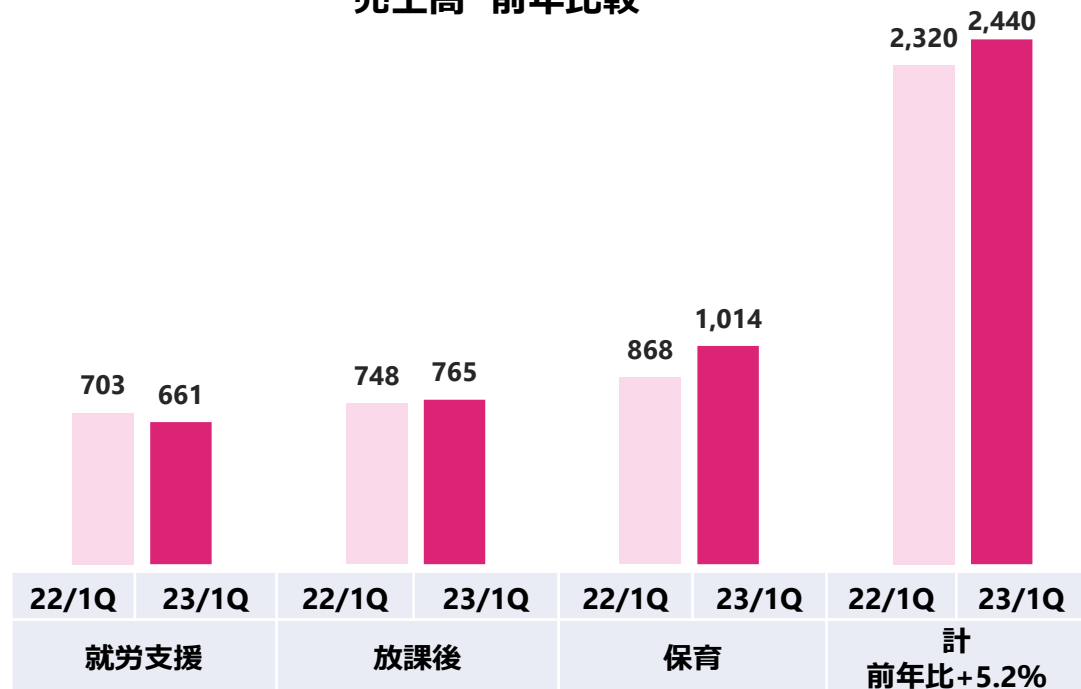
(百万円)



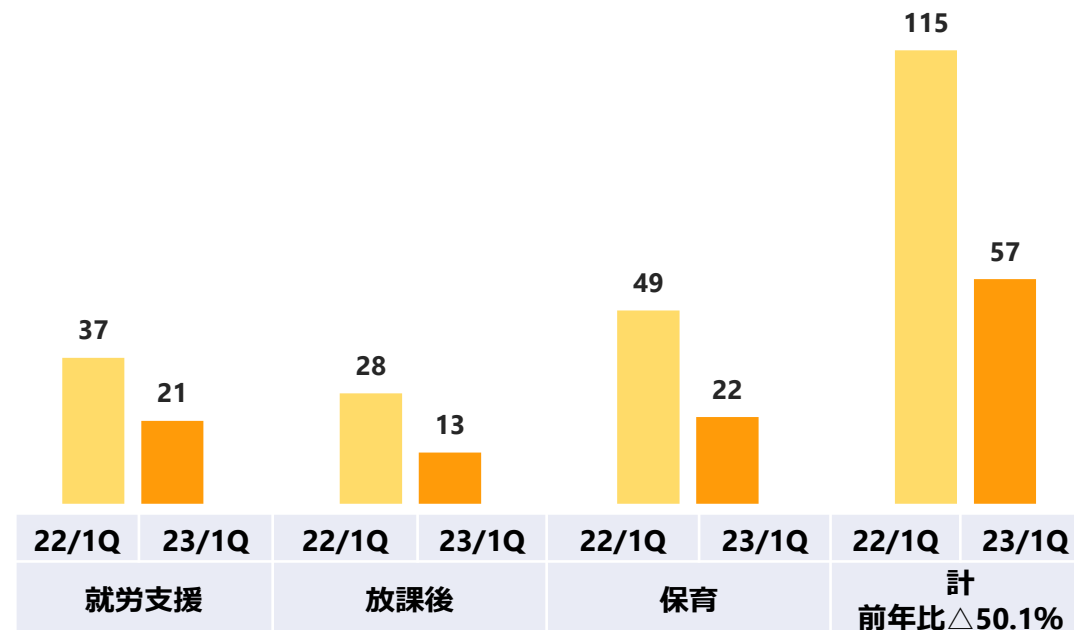
セグメント	前年比	売上総利益
就労支援	△14	減収影響
放課後	△4	売上は増加したが、職員の処遇改善のため労務費が増加
保育	△11	園児数の増加により増収したものの、積極的な年度途中受入れのため労務費が増加。緑化部門の売上は順調に推移し原価増を吸収

科目	前年比	販売管理費
人材採用費用	△3	放課後事業における預かり児童数増加対応のため夏休み期間対応人員の採用費用 前年比+2百万
人件費	△12	ドミナント展開に向けた本部人員増強 前年比+5.5%
その他費用	△11	・従業員育成計画にもとづく研修費用 前年比+2百万 ・勤怠システム刷新等 支払手数料 前年比+3百万

## 売上高 前年比較 (百万円)



## 営業利益 前年比較 (百万円)

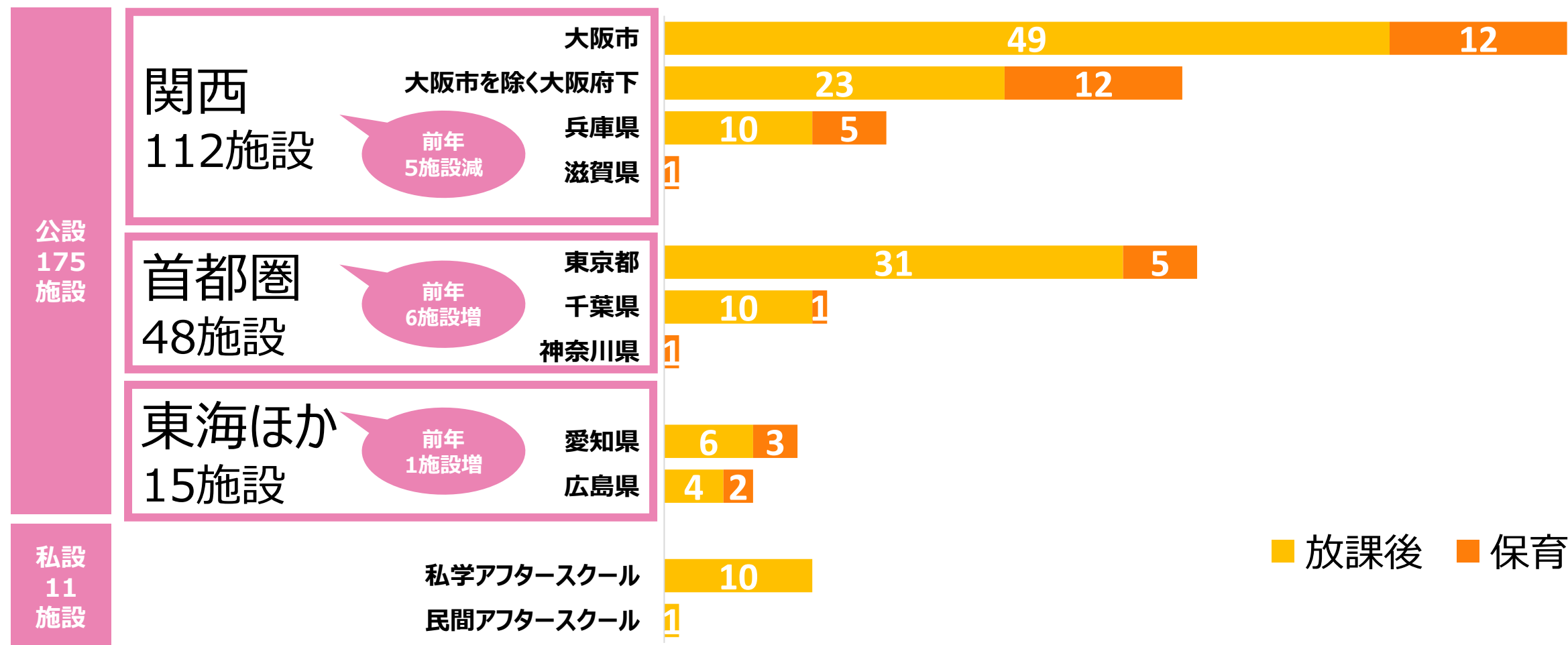


セグメント	売上高	営業利益
就労支援	↓ コロナ影響 ▲14百万発生 (既存スタッフの欠勤、受託先のサプライチェーン混乱等)	↓ 減収影響
放課後	↑ 受託自治体において原価にあわせた請求が可能となり、夏休みによる原価増にあわせて増収	↓ 夏休み期間対応人員の採用費用増加、中期的な施設増に向け運営強化を目的とした本部人員増加
保育	↑ 新設園の利用園児数の増加、既存園の年間を通したきめ細かい園児数増加策が寄与、緑化部門の売上増も寄与	↓ 年度途中の園児受け入れに向けた労務費増加に加え、本部人員増強による人件費増及び緑化部門にて販売管理費増加

## 当社運営施設の内訳（2022年8月末現在 計186施設※うち公設は以下枠囲み175施設）

✓ビジネスモデル上、4Q（4月）に新規開設が集中する

✓関西、首都圏を中心に事業を展開。参入障壁が高い自治体向けビジネスにおいて、競争力となる豊富な運営実績を有する



■ 放課後 ■ 保育



- ✓ビジネスモデル上、1Q（～7月）に実績が集中するが、今後、春施工に向けた準備を進めていく
- ✓2022年5月期売上計画は達成
- ✓施工顧客のメンテナンスはストック型のため安定収益を見込む
- ✓AIロボット芝刈り機+自動散水システムにより、旧来の芝生管理コストの大幅削減が可能



【事業構造】



保育園、幼稚園等への  
芝生施工・定期メンテ



施工費・メンテ費



保育園 + 幼稚園  
4万施設以上  
小・中・高・大  
3.5万施設

2022/5月末  
施工・管理 施設数

18施設

2023/5月期  
新規施工予定

20施設

- ・上記に加え春施工案件の獲得を目指す
- ・高校グラウンド大型受注済
- ・東京進出により首都圏エリア拡大開始

- ✓増収増益を見込む 売上高は過去最高の更新を目指す
- ✓足元の原材料価格、光熱費等の高騰を織り込んだ計画
- ✓持続的な成長を見据え、新規事業、人材投資、ICT投資などは継続する
- ✓引続き既存園において年度途中の積極的な園児受入れを行う

(百万円)

	2023/5期計画	構成比	前年増減率	2022/5期	
				実績	構成比
売上高	<b>9,640</b>	100.0%	+5.6%	9,130	100.0%
売上原価	<b>7,849</b>	81.4%	+4.7%	7,499	82.1%
売上総利益	<b>1,790</b>	18.6%	+9.8%	1,631	17.9%
販売費及び一般管理費	<b>1,490</b>	15.5%	+6.6%	1,397	15.3%
営業利益	<b>300</b>	3.1%	+28.5%	233	2.6%
経常利益	<b>300</b>	3.1%	+10.2%	272	3.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>195</b>	2.0%	+12.4%	173	1.9%

✓全セグメント過去最高の更新を見込む

✓保育事業は2022/5期の3施設増、既存園の園児数増加が売上に寄与する見込み

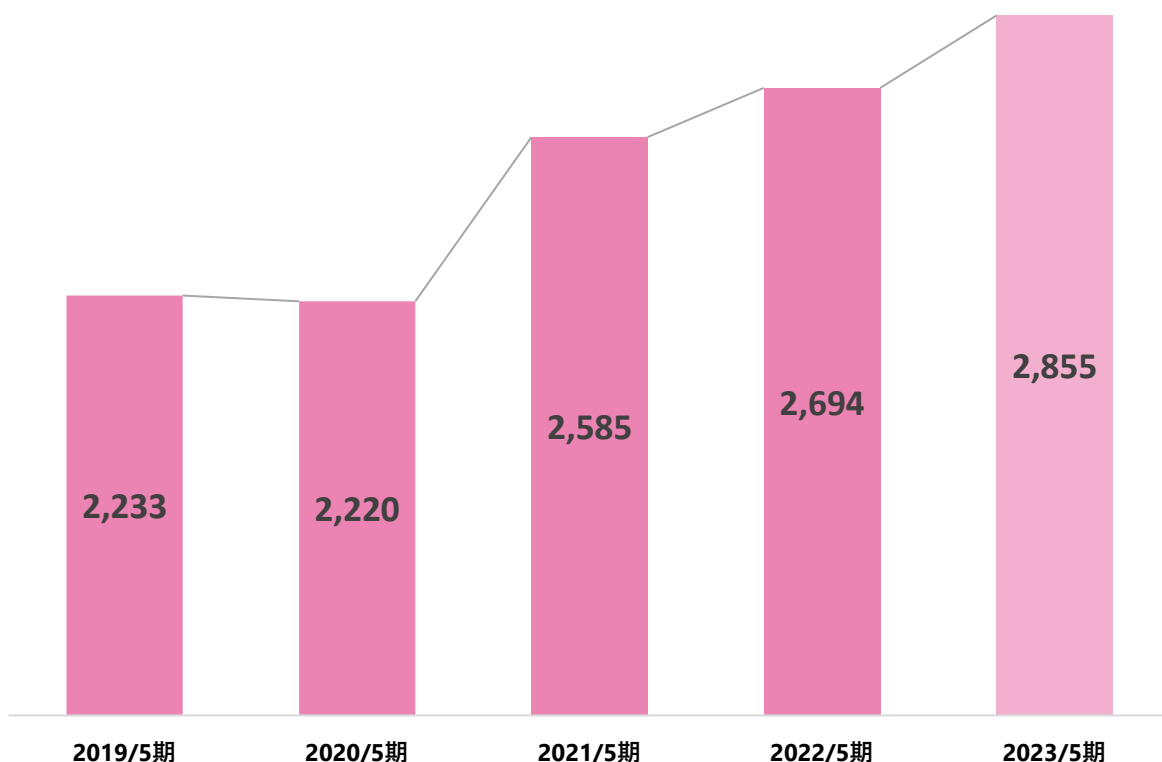
(百万円)

	2023/5期計画	2022/5期実績	増減率
就労支援事業	<b>2,855</b>	2,694	+5.9%
放課後事業	<b>2,895</b>	2,824	+2.5%
保育事業	<b>3,890</b>	3,610	+7.7%
合計	<b>9,640</b>	9,130	+5.6%

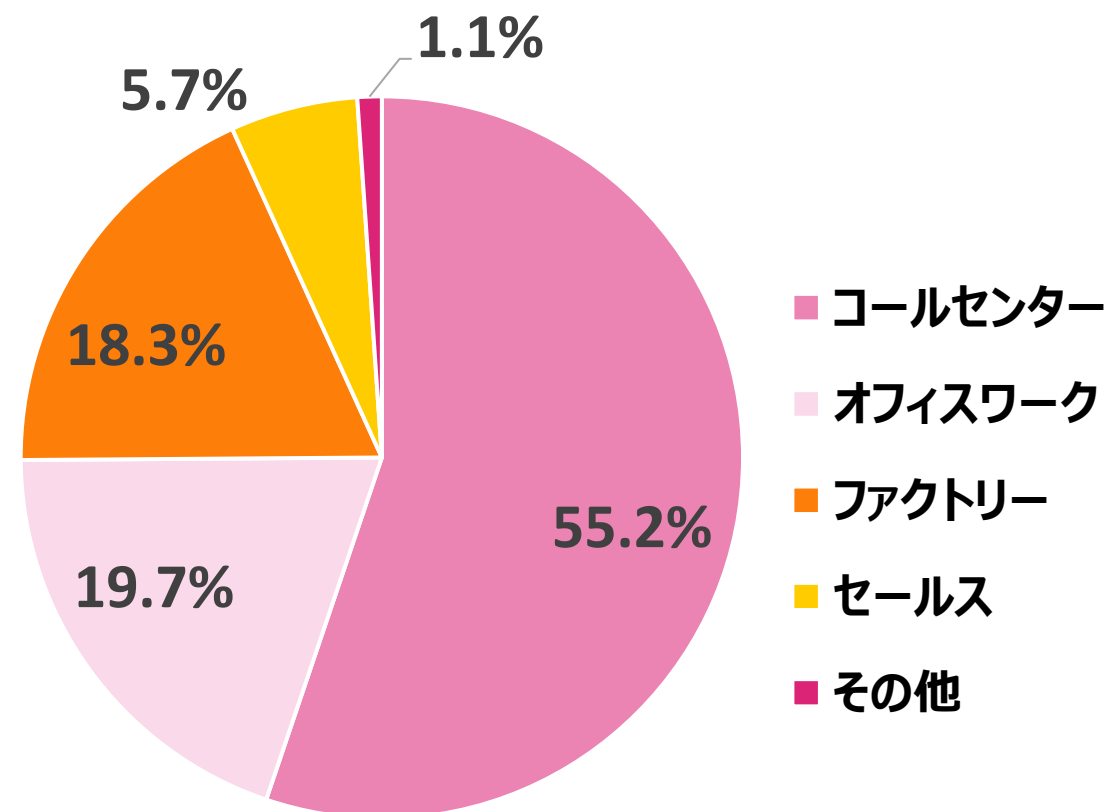
# 就労支援事業 売上計画と業種内訳

- ✓2023年5月期 過去最高売上を計画。既存顧客の取引拡大、新規顧客開拓に注力
- ✓パートタイム就労と相性の良いコールセンター業務が過半数を占める
- ✓コールセンター業務は大手家電メーカー修理受付等

<売上高推移（百万円）>



<2023/1Q 業種別売上高比率>

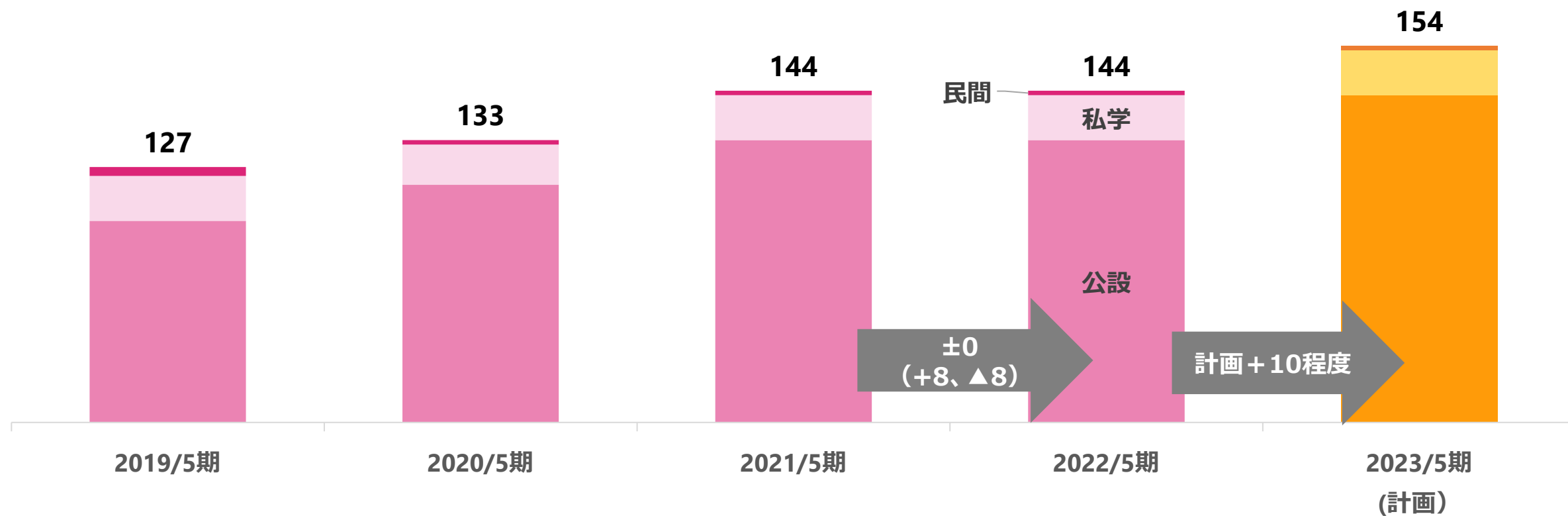




✓2023年5月期に10施設程度の開設を目指す（当社施設開設基準に沿った新規施設開拓）

✓2022年8月末現在 合計144の放課後施設を運営

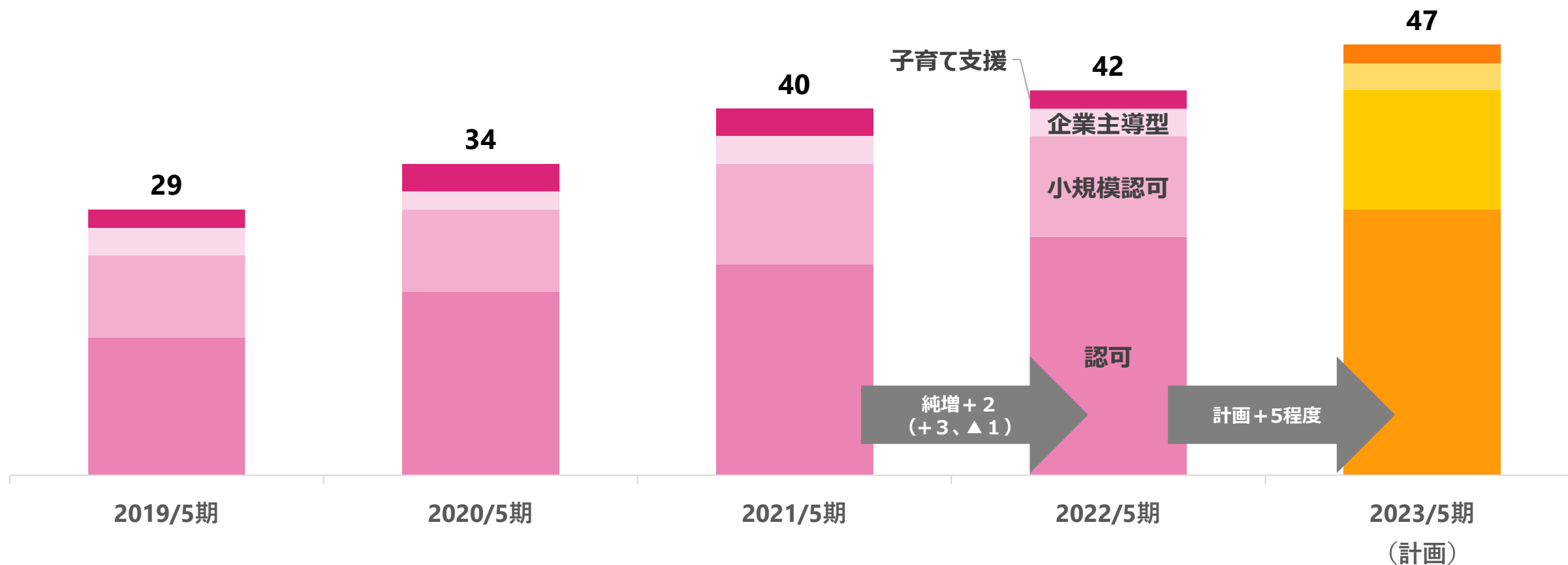
✓2022年5月期 増減内訳：増加…新規開設8施設（公設受託8） 減少…公設8施設（契約満了7、児童館閉館1）



✓2023年5月期に5施設程度の開設を目指す

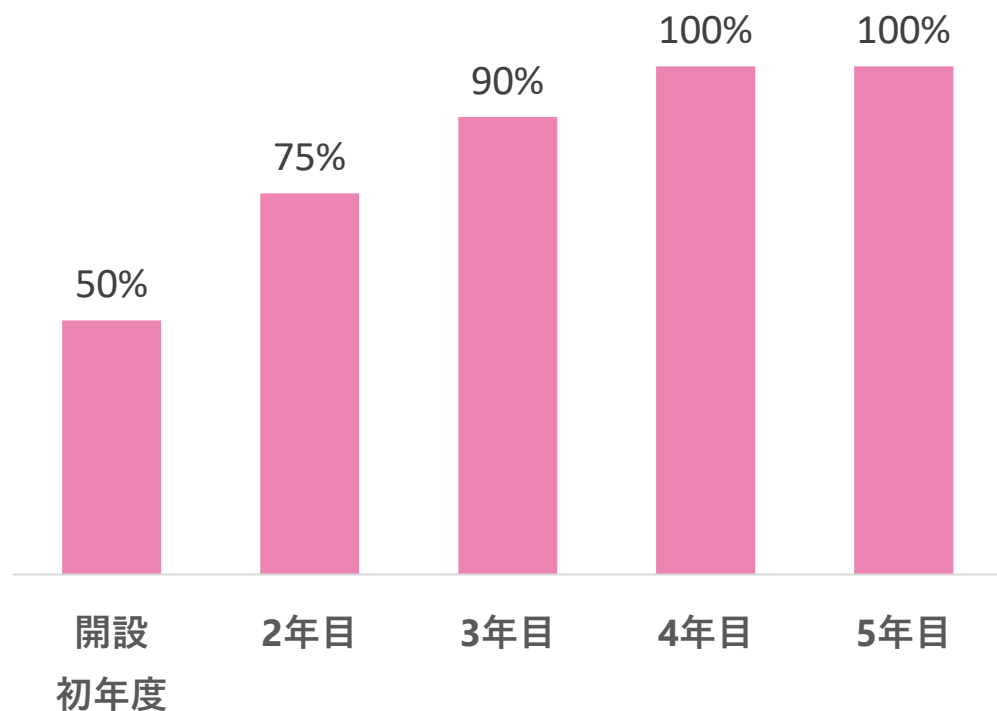
✓2022年8月末現在 合計42の保育施設を運営

✓2022年5月期 増減内訳：増加…新規開設3施設（認可3）、減少…契約満了▲1施設（子育て支援施設）

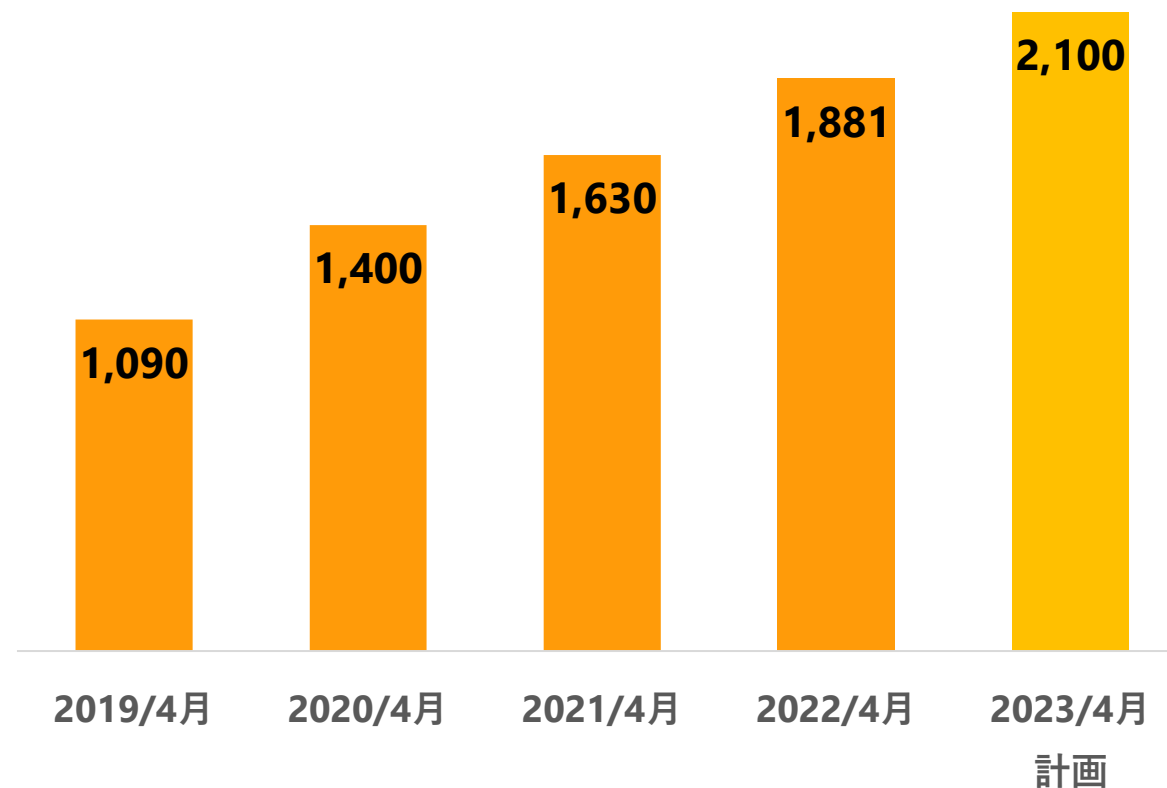


- ✓2023年5月期計画はコロナ影響による利用控えを想定せず
- ✓年度途中での園児数増に向け、引続き月次で保育園児数のKPI設定とモニタリングを実施していく
- ✓新規開設初年度は「0、1、2歳児」の受入れが主→年度を追うごとに充足率が上がる
- ✓売上は園児数と比例

### <園児数充足モデル>

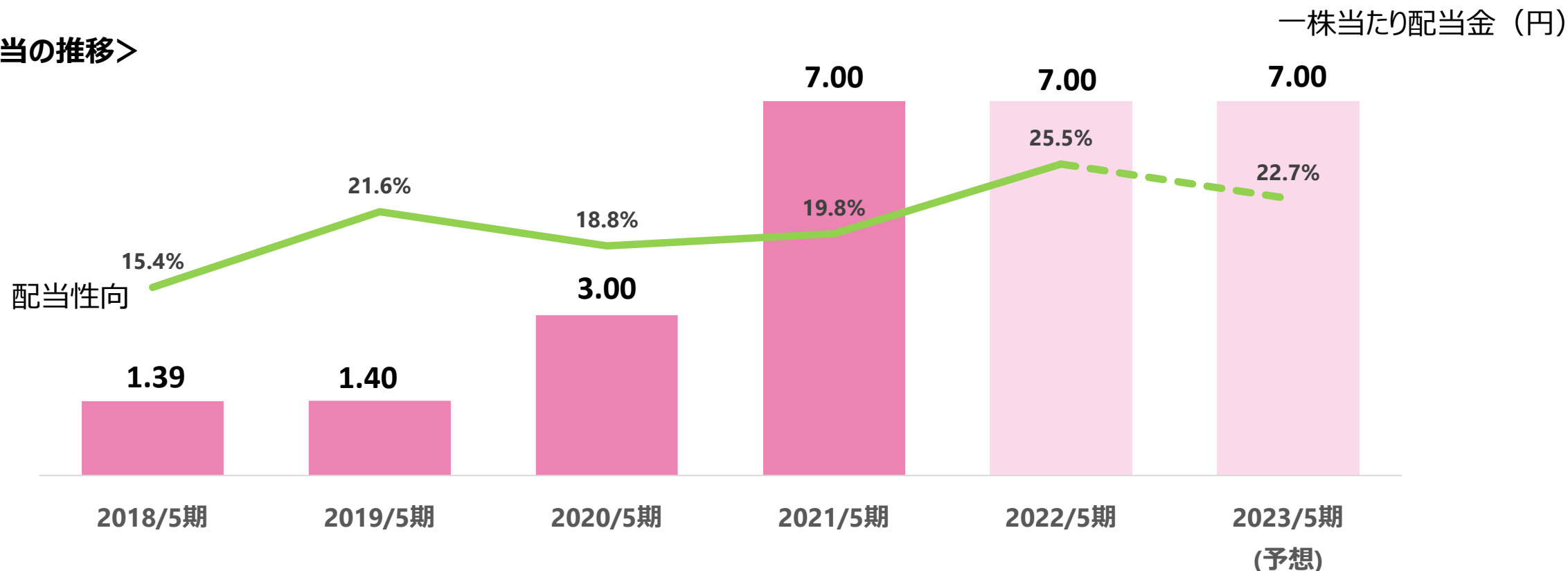


### <当社園児数推移>



- ✓業容拡大に向けた投資ならびに内部留保の充実を図りながら、継続的・安定的に配当を行うことを基本方針とする
- ✓配当性向20%を当面の目標とする
- ✓2023年5月期は、配当政策の基本方針に基づき、安定的な還元を継続するため、2022年5月期と同額の7円を予定

## <当社配当の推移>



※2020/10/1付\_株式分割1：2実施  
 グラフの2020年5月期以前の実績は、株式分割後の値で換算

内閣府は 保育、放課後の受け皿確保をベースに  
2025年女性就業率82%と目標設定（2021年71.3%※）  
**当社事業領域は政策とリンクしている**

政府の動き	政策カテゴリ	女性就業	育児両立支援制度の確立	
			保育	放課後
	現行政策	女性就業率80%	2020年度末 待機児童解消 ✓目標達成できず	2023年度末 受入児童数 +30万人 学童クラブ定員拡大
	新たな目標 2020年12月発表 「新子育て安心プラン」 新たな閣議決定	2025年 女性就業率82%	2024年度末 園児数 +14万人分 受け皿整備	—
	2023年4月 こども家庭庁創設	こどもの視点・子育て当事者の視点に立った政策の企画立案・総合調整等		
	当社事業	就労支援事業	保育事業	放課後事業

※総務省統計局 労働力調査（基本集計）2021年平均より

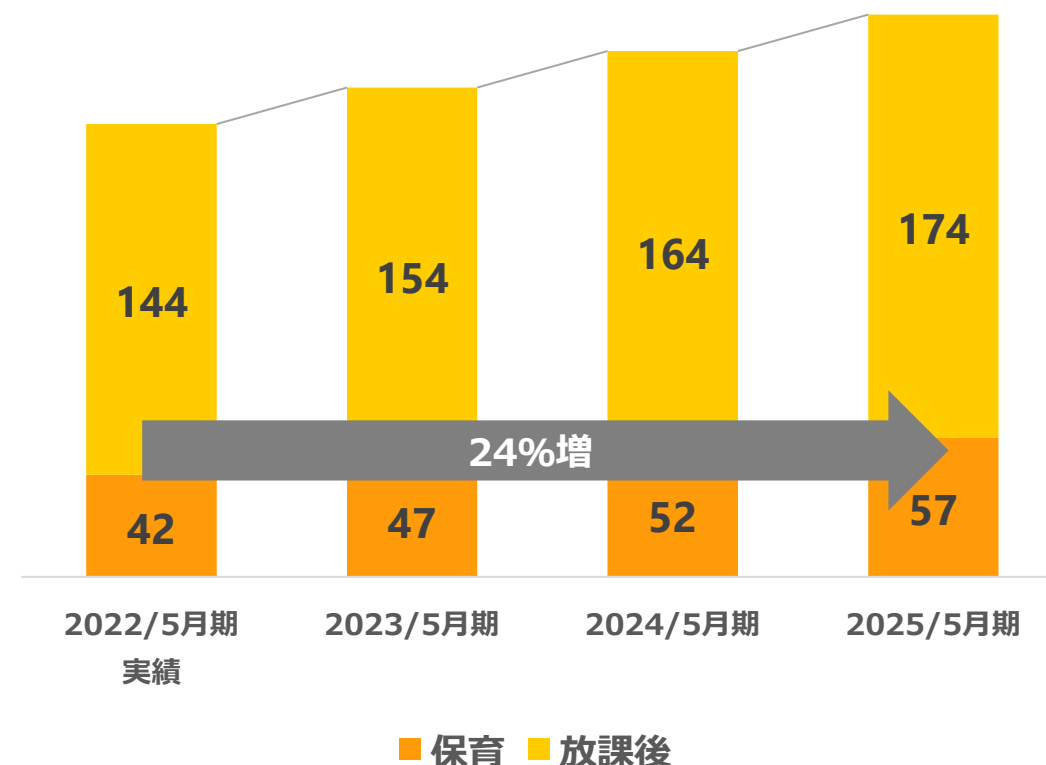
✓2025年5月期 関わる家族17万人の笑顔をつくる・・・売上高 120億円（2022年5月期比+31%）  
 営業利益 6.6億円（同+189%）をめざす

✓3事業強化+新規事業開発による多角経営、本部人員も強化し安定した拡大期へ

（百万円）

	実績	中期経営計画		
	2022/5月期	2023/5月期	2024/5月期	2025/5月期
売上高	9,130	9,640	10,800	<b>12,000</b>
営業利益	233	300	444	<b>660</b>
営業利益率	2.6%	3.1%	4.1%	<b>5.5%</b>

＜放課後・保育施設数 計画＞



	2022/5月期末	2025/5月期末
セリオファミリー	11万人	関わる家族17万人の笑顔をつくる
グループ連結	売上高91億円 営業利益2.3億円	売上高120億円 (2022年5月期比+31%) 営業利益6.6億円 (同+189%)
就労支援 稼働スタッフ	915名 うち主婦率8割	1,210名 うち主婦率8割
放課後施設数 登録児童数	144施設 20,825名	174施設 24,300名
保育施設数 利用園児数	42施設 1,894名	57施設 2,450名
セリオガーデン	施工施設数18	累計施工施設数 200

## ✓中期経営計画の戦略に沿って各部門進捗中

	ありたい姿	中期戦略骨子	進捗トピックス (2023年5月期)
コーポレート	関わる家族17万人の笑顔をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種システム投資による業務効率化</li> <li>・横断での育成・能力開発・配置</li> <li>・働きやすい環境づくり</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスの実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GLTD保険導入</li> <li>・新卒者向けメンター制度導入</li> <li>・役職別研修開始</li> </ul>
就労支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主婦が「働きたい」と思ったら「sacaso」※</li> <li>・主婦の働きやすさNO.1を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主婦向けパートタイム派遣特化</li> <li>・企業へのコストダウン提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣スタッフへのリフレッシュ休暇付与</li> <li>・sacaso派遣のサービスが「日本子育て支援大賞2022」を受賞</li> </ul>
放課後	「明日も来たい」子どもの笑顔があふれる安心・安全な施設	民間へ運営移管自治体へのドミナント展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドミナント展開に向けた本部人員増強</li> <li>・中期的な施設増に向けた人材の早期確保、育成強化</li> </ul>
保育	「通わせたい・働きたい」地域NO.1 保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童顕在化地域への展開</li> <li>・選ばれる施設づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア園長制度導入</li> <li>・園長主導のテーマ別横断委員会（質向上・コミュニケーション活性化他）</li> </ul>
セリオガーデン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緑のじゅうたん」ならセリオガーデン</li> <li>・業界第一人者の地位確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規顧客開拓100施設</li> <li>・定期メンテナンス体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校グラウンド大型受注</li> <li>・東京進出により首都圏エリア拡大開始</li> <li>・春施工開始（施工ピークを年1回→複数化へ）</li> </ul>

※sacaso…就労支援事業の事業ブランド名



本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、作成時点で取得している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その実現を確約・保証するものではありません。

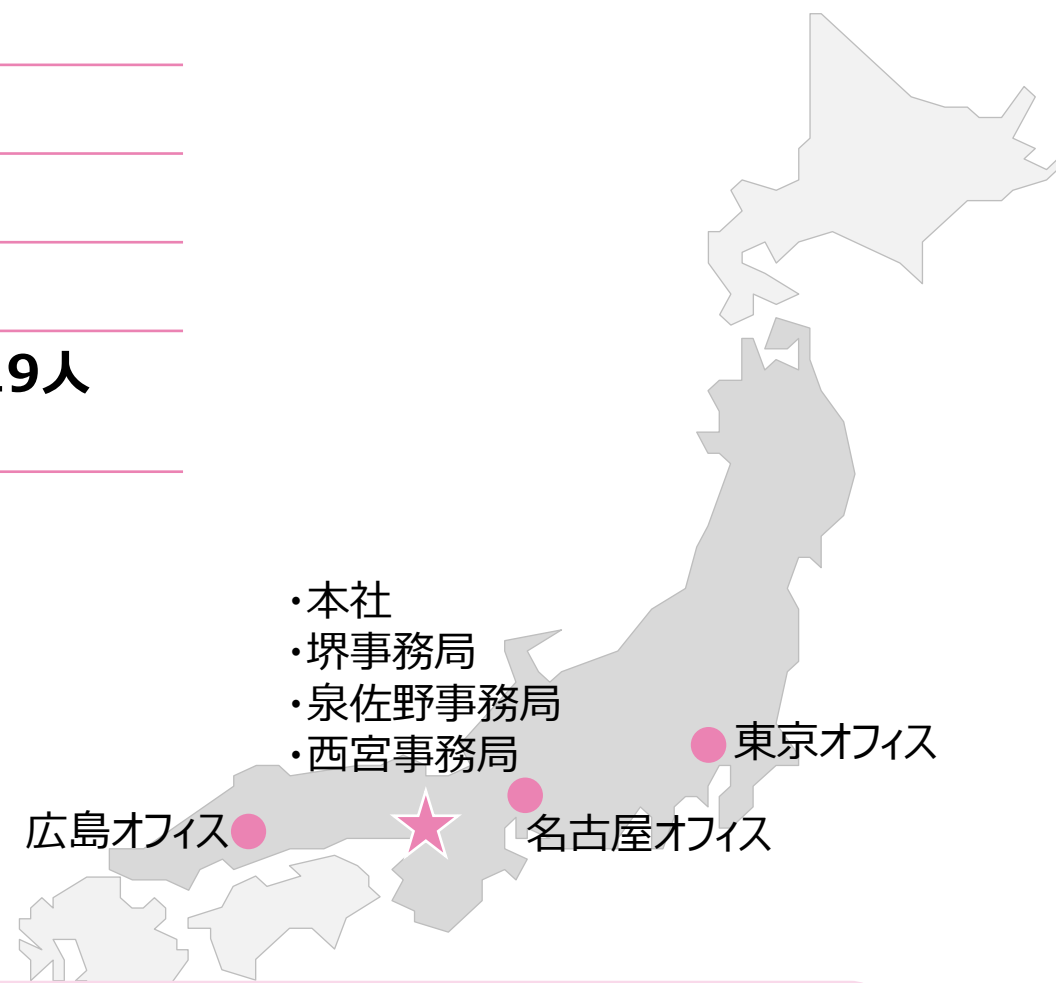
# Appendix

社名	株式会社SERIOホールディングス
設立	2016年6月1日
代表者	若濱 久
資本金	693,263千円
従業員数	正社員 837人 パートタイマー等 2,119人 (2022/5月末時点 連結)
本社所在地	大阪市北区

《主要グループ会社》

社名	株式会社セリオ
設立	2005年6月24日

上場証券取引所 東証グロース (証券コード: 6567)



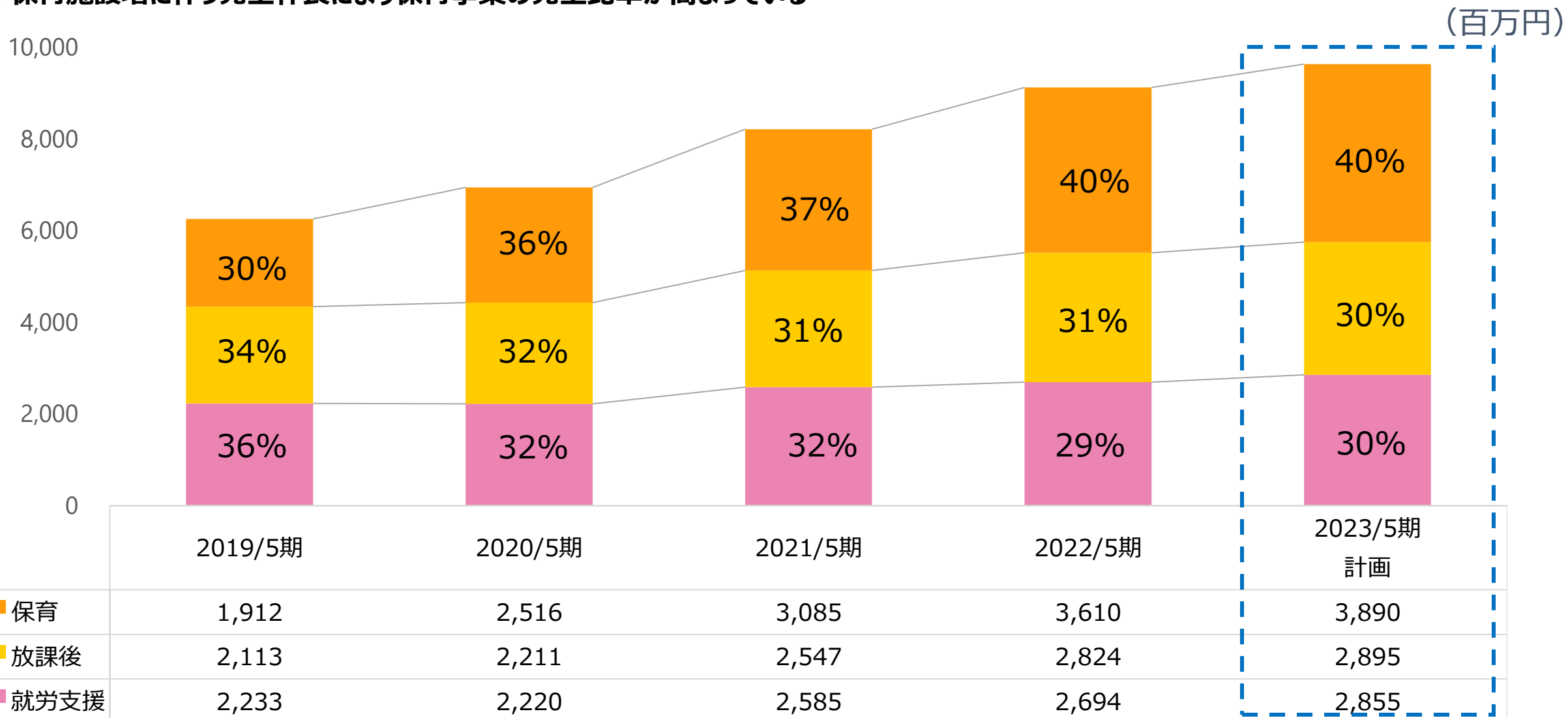
『SERIO』 ポルトガル語で『まじめ』という意味

- |       |     |  |
|-------|-----|--|
| 2005年 | 6月  | 大阪市に(株)セリオ（資本金10,000千円）を設立<br>子育て中の既婚女性の人材派遣を主とした就労支援事業を開始   |
| 2010年 | 3月  | <b>小学生を対象とした放課後事業を開始</b>                                     |
| 2012年 | 4月  | <b>未就学児童を対象とした保育事業を開始</b>                                    |
| 2013年 | 12月 | 大阪市北区、淀川区で児童いきいき放課後事業の受託運営を開始                                |
| 2014年 | 4月  | 当社初の認可保育園を大阪市都島区に開設  |
| 2016年 | 6月  | (株)SERIOホールディングス（資本金10,000千円）を設立し、(株)セリオを完全子会社化              |
| 2017年 | 10月 | 就労支援事業の新ブランド“sacaso”（サカソ）の運用を開始                              |
| 2018年 | 3月  | 東京証券取引所マザーズ市場（現 グロース市場）に上場                                   |
| 2020年 | 12月 | (株)セリオの子会社である(株)クオーレを(株)セリオガーデンに社名変更 2021年1月より <b>緑化事業開始</b> |
| 2022年 | 4月  | 放課後144施設 保育42施設 合計186施設運営                                    |

(百万円)

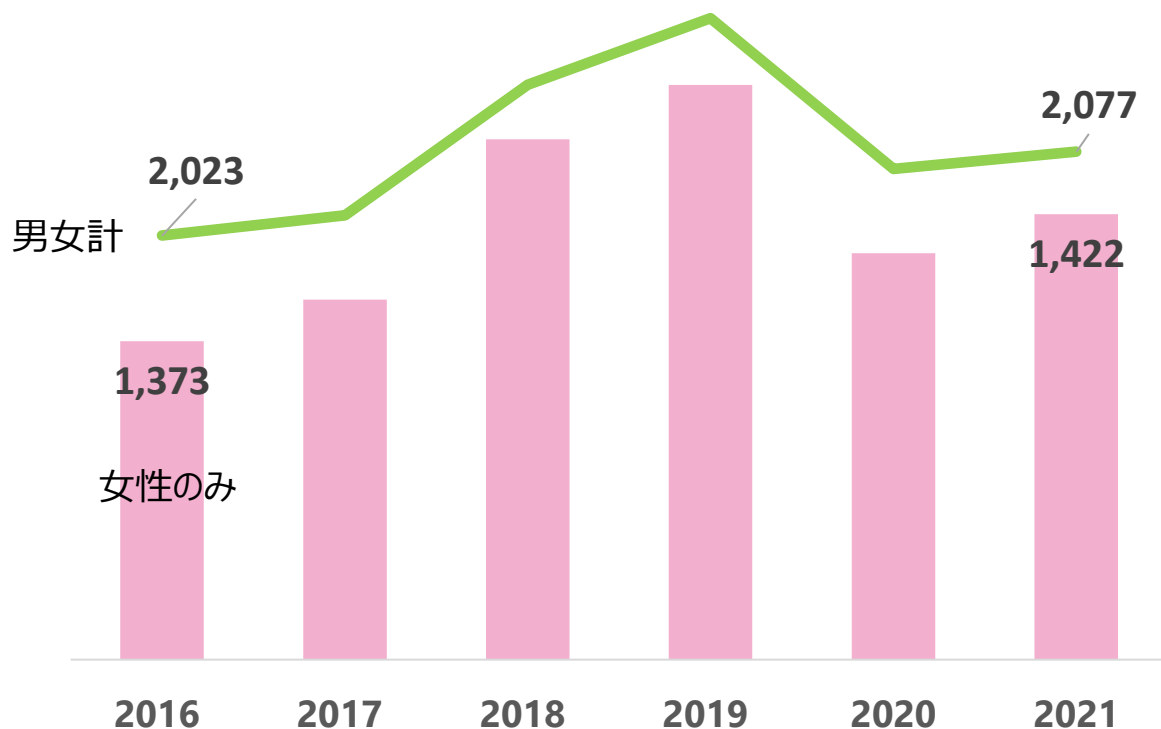
	2022/5月末		2022/8月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>流動資産</b>	2,675	57.8%	<b>2,596</b>	57.0%	-79
現金及び預金	1,869	40.4%	<b>1,711</b>	37.6%	-158
<b>固定資産</b>	1,951	42.2%	<b>1,956</b>	43.0%	+4
有形固定資産	1,421	30.7%	<b>1,419</b>	31.2%	-2
<b>資産合計</b>	4,627	100.0%	<b>4,552</b>	100.0%	-74
<b>流動負債</b>	1,388	30.0%	<b>1,371</b>	30.1%	-17
<b>固定負債</b>	1,176	25.4%	<b>1,151</b>	25.3%	-24
長期借入金	912	19.7%	<b>887</b>	19.5%	-24
<b>負債合計</b>	2,565	55.4%	<b>2,523</b>	55.4%	-42
<b>純資産合計</b>	2,062	44.6%	<b>2,029</b>	44.6%	-32
<b>負債純資産合計</b>	4,627	100.0%	<b>4,552</b>	100.0%	-74

- ✓2023/5月期は全セグメントとも過去最高売上を計画
- ✓保育施設増に伴う売上伸長により保育事業の売上比率が高まっている



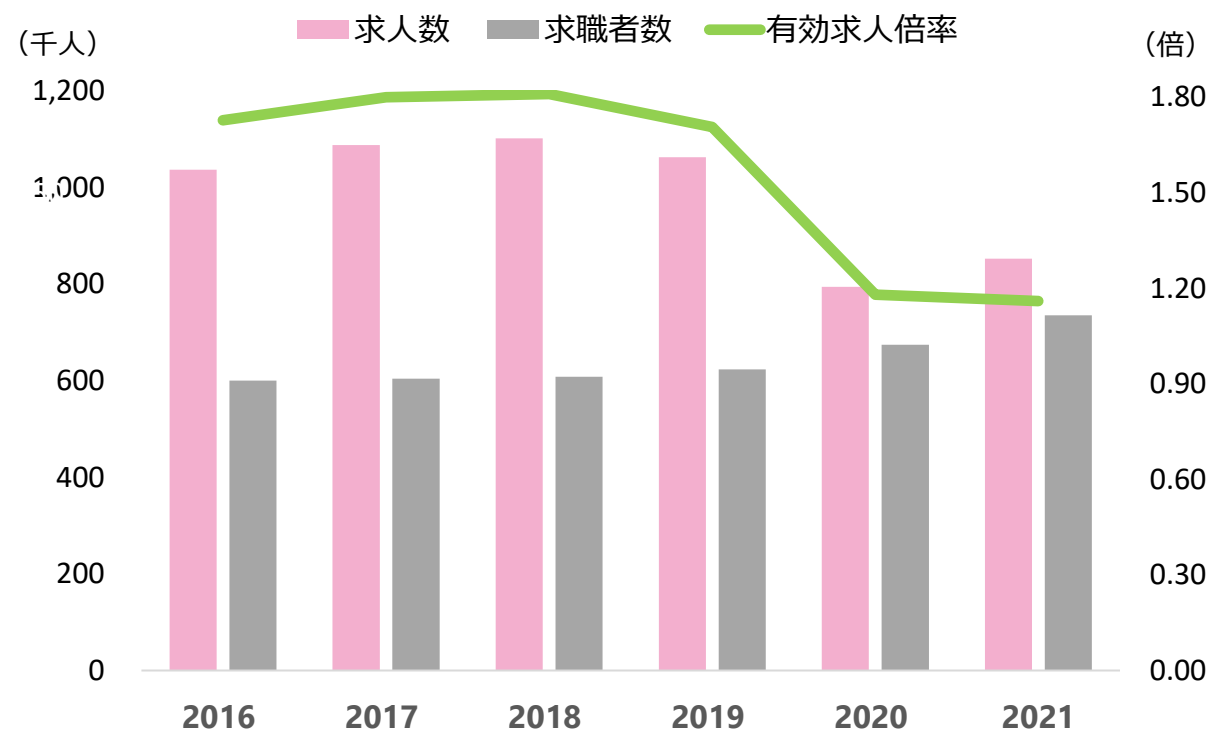
非正規従業員の就業者数はコロナ下の2020年に減少したものの、2021年増加に転じた。  
求職者も増加しており、派遣スタッフは従来と比較し採用しやすい環境となっている。

＜非正規の職員・従業員数推移（万人）＞



厚生労働省「労働力調査 2021年度」より

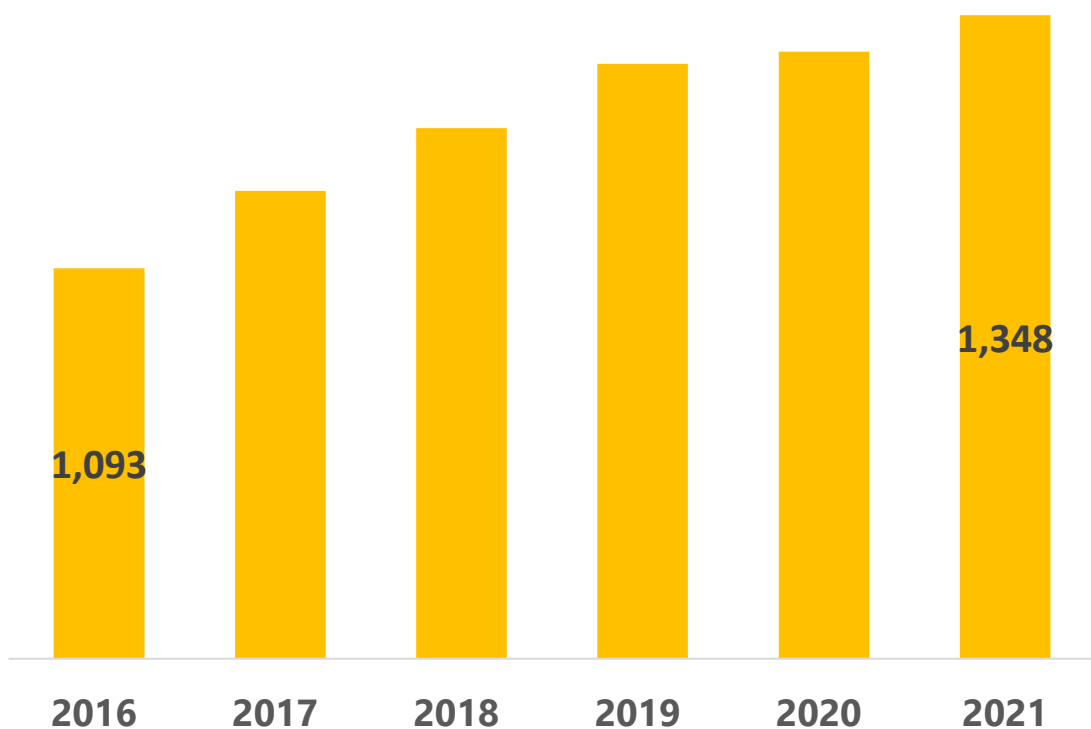
＜パートタイマーの求人・求職者数推移＞



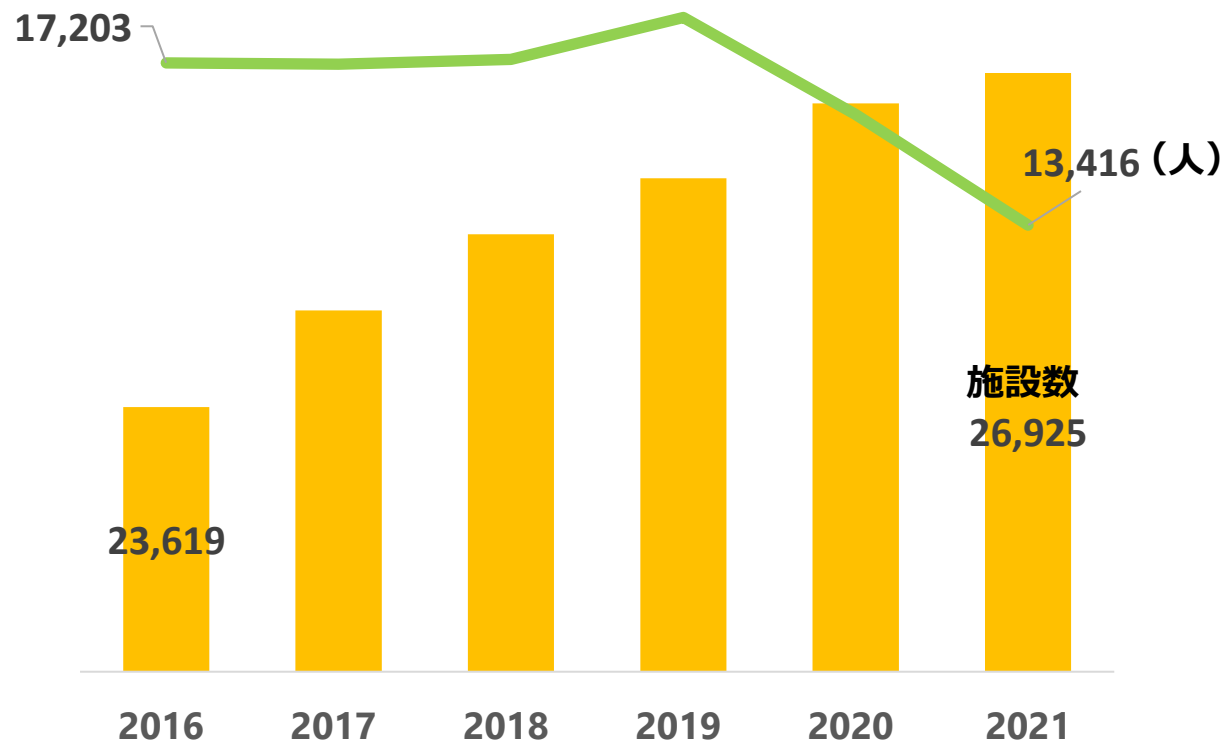
厚生労働省「一般職業紹介状況[実数]（パート）」より

登録児童数の増加に伴い、学童施設数は増加。2020年以降、コロナ影響による利用控えにより全体の待機児童数は減少したものの、需要には追いついていない状況。今後の市場拡大余地が大きい。

<登録児童数の推移（千人）>



<学童施設数と待機児童数（人）の推移>

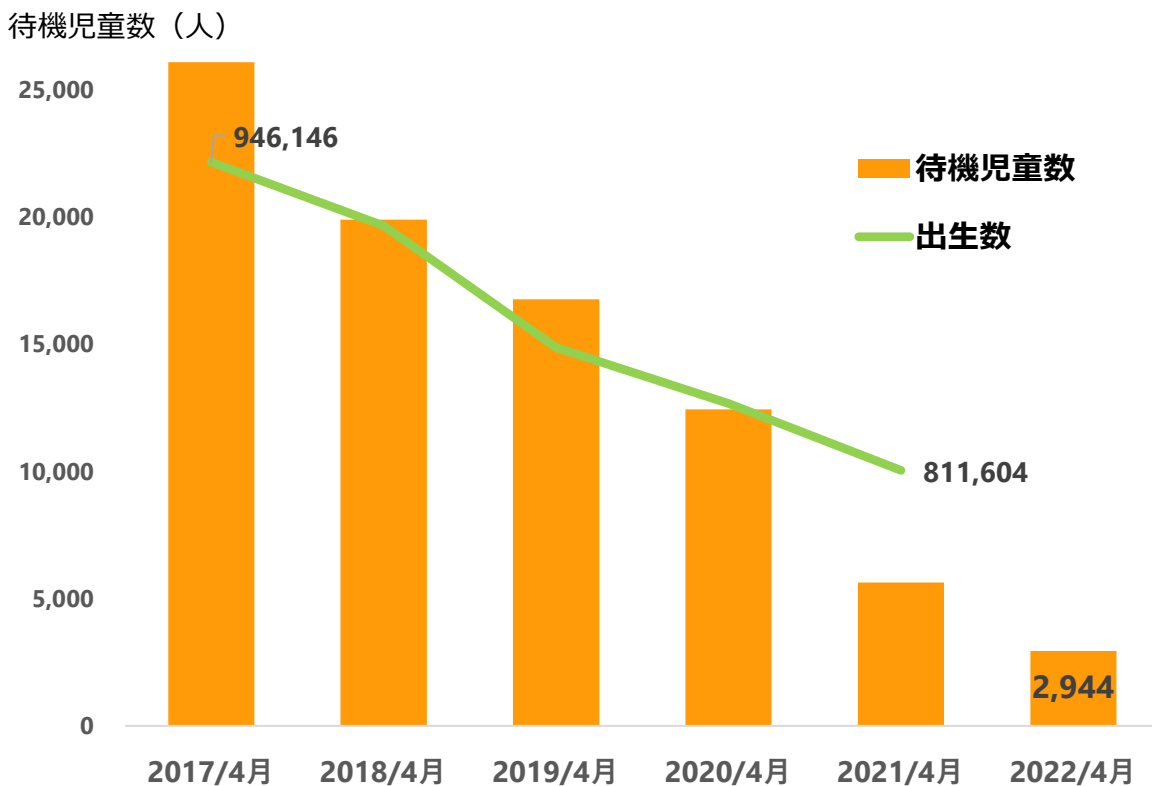


厚生労働省「2021年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況（2021年5月1日現在）」より



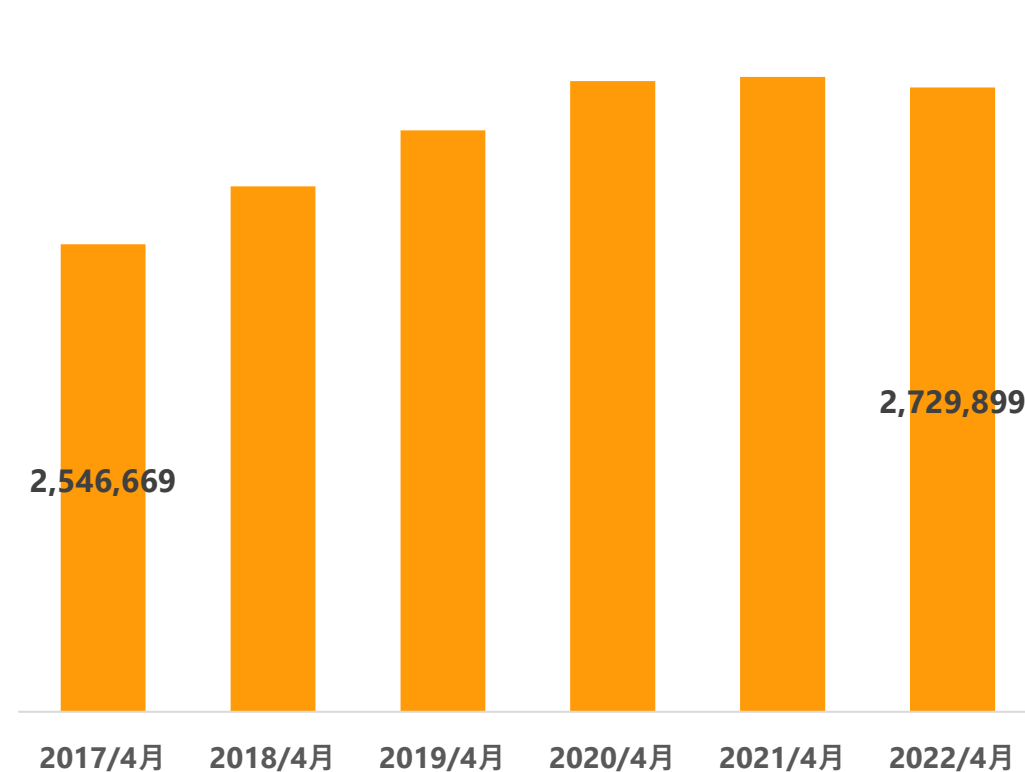
コロナ下において少子化は加速。待機児童数は年々減少しており、2022年4月時点では保育所を利用する児童がはじめて前年を割った。当社は女性の就業率上昇に伴う需要の高い地域に展開していく。

<待機児童数・出生数の推移（人）>



厚生労働省「令和3年（2021）人口動態統計月報年計（概数）の概況（令和3年）」より

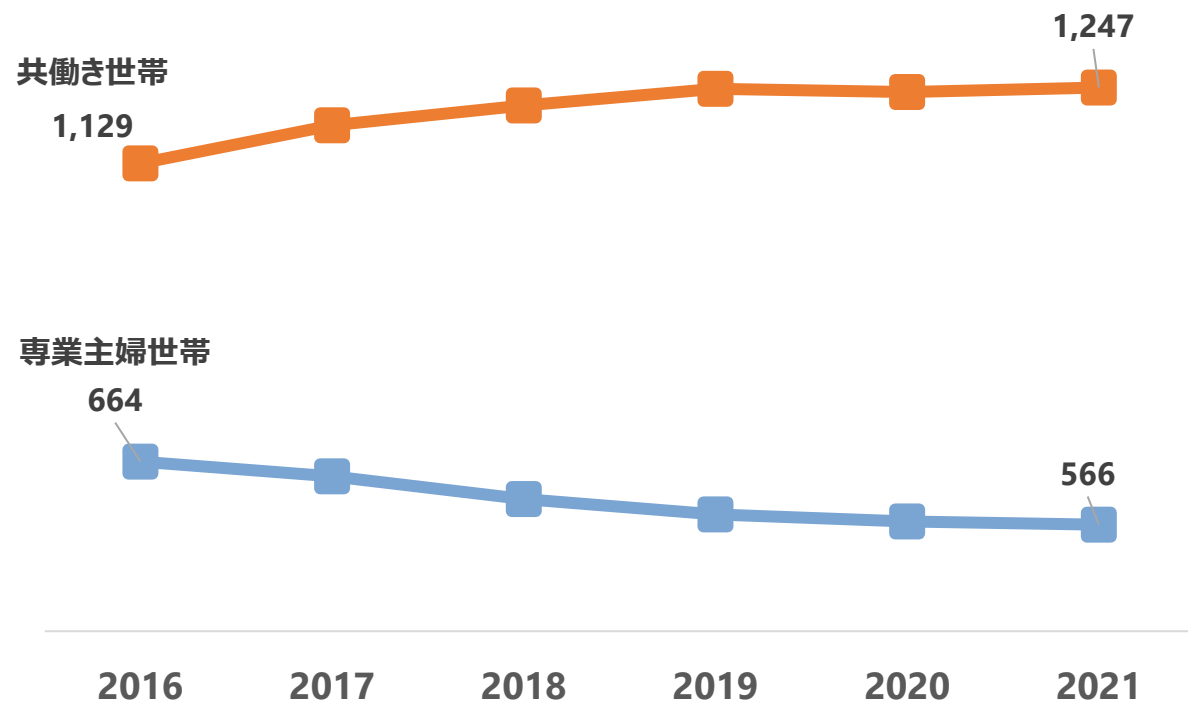
<保育所等利用児童数の推移（人）>



厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和4年4月1日）」より

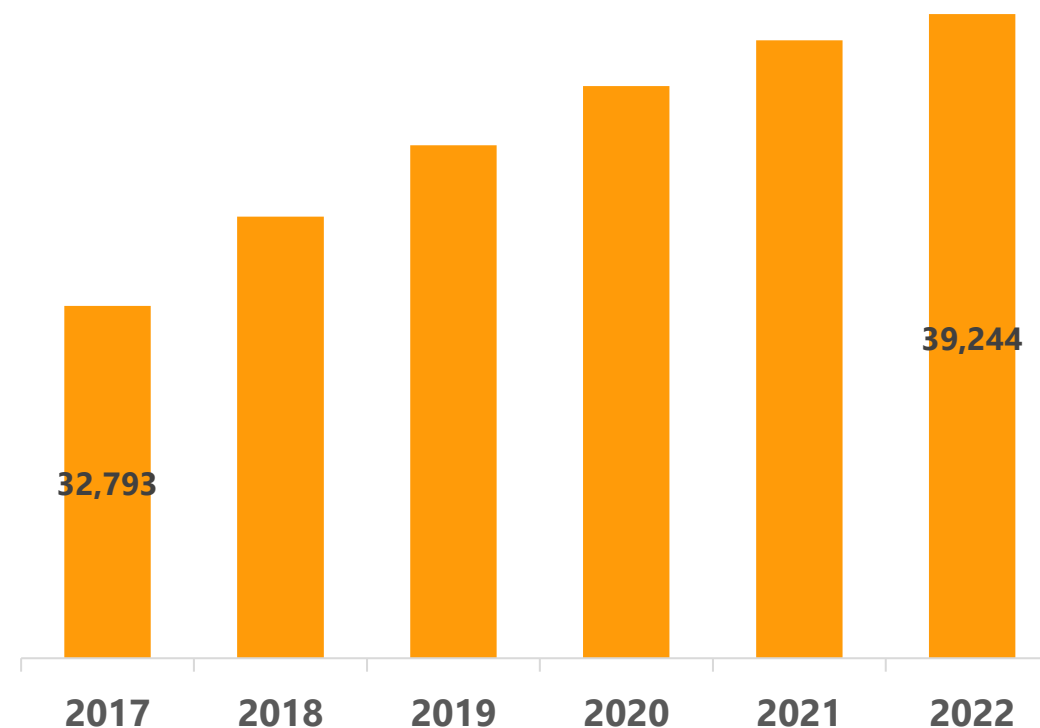
共働き世帯は増え続け、専業主婦世帯の倍以上の水準で推移。保育需要の高まりにより施設数は増加し続けている。

＜共働き世帯数の年次推移＞



総務省「労働力調査（詳細集計）」より

＜保育所等施設数の推移＞



厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和3年4月1日）」より

# “家族の笑顔”があふれる豊かな未来へ

持続可能な社会の実現のため、全ステークホルダーとの共生を原点にESGに取り組んでいます。

Environment 環境	Social 社会		Governance 企業統治
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICT化によるペーパーレス化推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 放課後施設での廃材を再利用した工作プログラム実施</li> </ul> </li> <li>● 保育施設への節水機器の設置               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育園・幼稚園等の園庭芝生化事業</li> </ul> </li> </ul>	ワーク・ライフ・バランス	テレワーク制度 恒久化 時差出勤制度 恒久化 不妊治療休暇制度 年間休日125日以上 時間有給休暇制度 積立有給休暇制度 カムバック制度 ノー残業DAY 男性育休取得促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社外取締役3名（37.5%）</li> <li>● 女性取締役1名（12.5%）</li> <li>● リスクマネジメント委員会設置</li> <li>● コンプライアンス委員会設置               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社内通報制度</li> </ul> </li> <li>● コンプライアンス研修実施</li> <li>● 譲渡制限付株式報酬制度</li> </ul>
	女性活躍推進	女性管理職比率69.2% ※1 育児関連福利厚生拡充	
	障がい者雇用促進	「tiku☆tiku」の創設 ※2	
	従業員健康促進	女性検診全額負担 社内禁煙制度 コロナワクチン接種休暇	

※1\_2022/5月期実績

※2\_保育園向け手作りおもちゃ工房

# 2030年のセリオへ！

「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」を目指し、持続可能な企業価値の向上に努めています。

SDGsへの取組みを通して、事業の持続的な発展と新たな事業展開を推進しています。

4 質の高い教育を  
みんなに



●放課後施設で子どもたちにSDGsへの理解を促進するプログラムを実施しています。

17の目標に合わせて作成したオリジナルテキストを使用し、子どもたちがSDGsを身近に感じ、自らが考え行動できるようサポートを行っています。



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



●すべての女性が出産や育児・介護を行いながら仕事を続けることができるよう、女性の就業と育児をサポートしています。

また、セリオグループで働くすべての従業員がキャリアを磨き、活躍できる働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。



8 働きがいも  
経済成長も



●保育士資格支援制度を制定し、キャリアアップを支援しています。

●花王グループカスタマーマーケティング株式会社様と連携し、安価で紙おむつの定額サービスを提供しています。

●保育園向けの手作りおもちゃを制作し、障がい者雇用の促進、保育士の業務負担軽減に取り組んでいます。



12 つくる責任  
つかう責任



●保育園給食における食品ロス量を計測し、低減させるための取り組みを行っています。栄養バランスを保ちながら、一人当たりの食料の廃棄量を削減していくことを目標にしています。

●印刷会社と提携し、余剰紙を提供いただき、放課後施設で活用しています。資源を再利用し、プログラムの充実に役立てています。



13 気候変動に  
具体的な対策を



15 陸の豊かさも  
守ろう

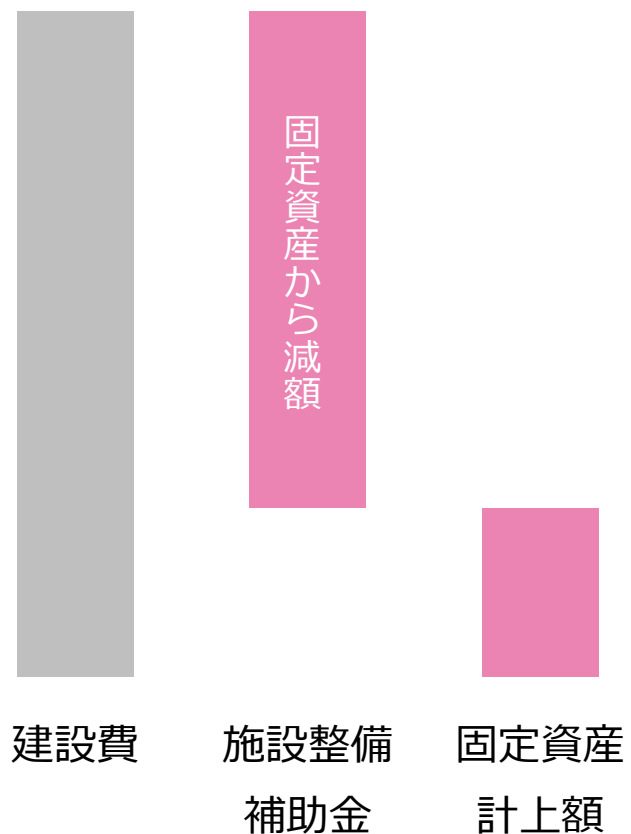


●株式会社セリオガーデンを立上げ、保育園・幼稚園・学校への芝生の普及を行っています。芝生の特性である保湿性によるヒートアイランド防止対策を推進し環境問題の改善に取り組んでいます。



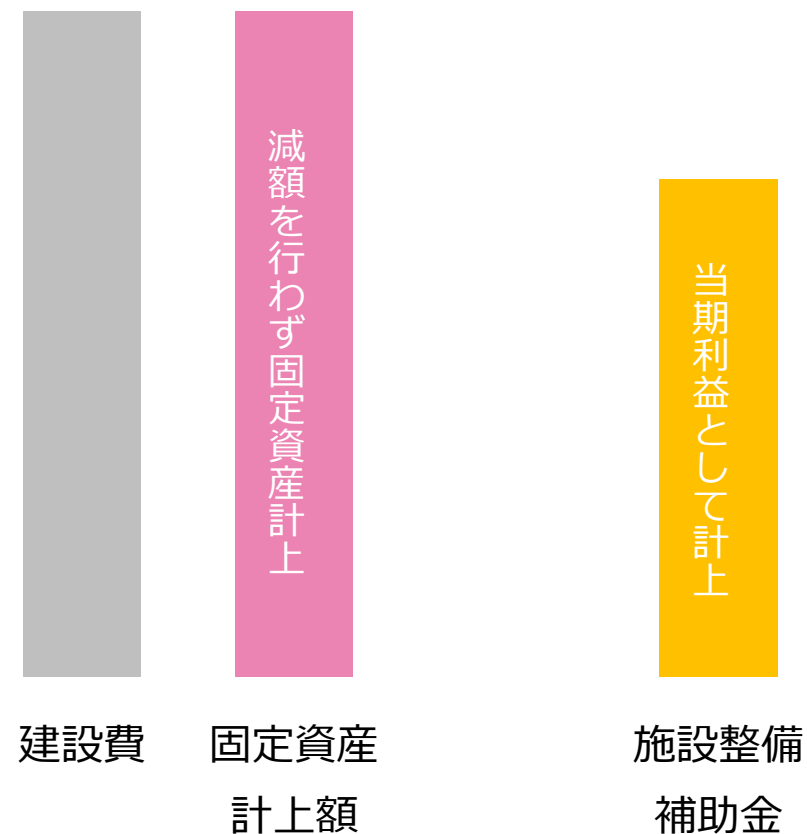
【直接減額方式 採用】※当社会計処理

施設整備に係る補助金をB/S上で反映



【直接減額方式 不採用】

施設整備に係る補助金をP/L上で反映





〒530-0003 大阪市北区堂島1-5-17堂島グランドビル8F  
TEL06-6442-0500  
<https://www.serio-holdings.co.jp/ir/>  
E-mail : [info2@serio-corp.com](mailto:info2@serio-corp.com) (経営企画室)